

## 令和4年度 地域課題解決に取り組む高校生サミット地域課題ワークショップ

本ワークショップは令和3年度 SSH 科学技術人材育成重点枠指定を受けて、本校主催で行われる「高校生サミット」へ向けた取組の一環として実施しております。本取組では、海と山の環境問題についての学習意見交流を通して、「高度なディスカッション力」、「地域課題解決に向け提言する力」を育成し、地域で活躍できる「シェアド・リーダーシップ」人材の育成を図ります。今年度は県内外より8校の生徒30~40名程度が参加して3回行われました。各回でテーマに沿った講義・実習を行い(表)、その日の学びについてディスカッションを行いました。また、各回のワークショップでは京都大学大学院教育学研究科、須磨里海の会、兵庫県立人と自然の博物館の方々をはじめ、様々な機関の方々より多大なご協力を賜りました。関係者の皆さまに深くお礼を申し上げます。

表 地域課題ワークショップの概要

		第1回	第2回	第3回
実施日		7/24 (日)	9/10 (土)	10/23 (日)
実施場所		須磨海岸 (神戸市)	須磨海岸 (神戸市)	県立人と自然の博物館 (三田市)
内容	テーマ	海と山のつながり	里海の環境	里山の環境
	講義	海と山のつながりを考える	須磨海岸で見られる変化	森林土壌学
	実習	沿岸でのプランクトン採集および観察	沿岸での小型地曳網による生物採集および選別・集計、海岸の漂着物調査	当博物館付近の里山 (三田市南公園 ブイブイの森) の見学、当博物館見学
学習のポイント		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 陸から供給される栄養を利用して海の生物が暮らしている</li> <li>・ 透き通った海が生物にとっての豊かな海とは限らない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 須磨海岸だけでも多様な生物が生息している</li> <li>・ 海水温の変化や人工物による潮流の変化が須磨海岸の生物に変化をもたらしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 里山の生態系は人間の適切な管理によって維持される</li> <li>・ 森林の土壌は植物が形成する</li> </ul>

## 図 活動の様子



第1回 砕波帯ネット等を用いて沿岸の生物を採集した。



第2回 小型地曳網を用いるとは様々な魚類が採集された。



第3回 里山では、人間による維持管理の必要性を目の当たりにした。